

たけた あそ
中九州横断道路(竹田～阿蘇)

第1回 説明資料

平成29年 3月 30日

国土交通省 九州地方整備局

目 次

1. 評価対象区間	・ ・ ・	2
2. 計画段階評価手続きの進め方(案)	・ ・ ・	4
3. 地域の現状と課題	・ ・ ・	6
4. 政策目標(案)の設定	・ ・ ・	22
5. 意見聴取方法(案)	・ ・ ・	26

1. 評価対象区間

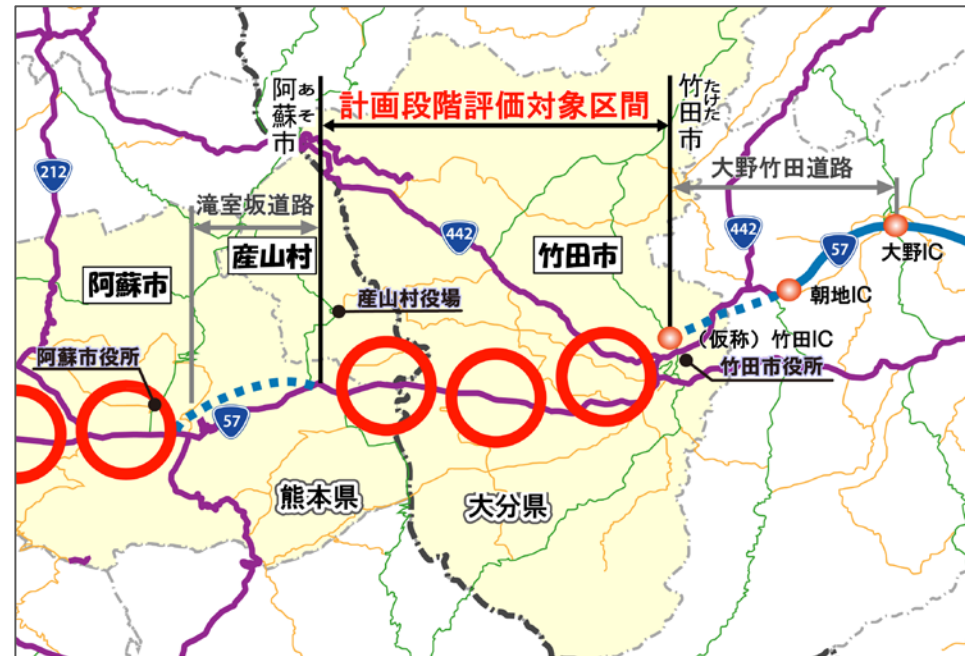
1. 評価対象区間

- 当該区間は、大分・熊本両県の県庁所在地を連絡する中九州横断道路の一部。
- 沿線の大分県竹田市、熊本県阿蘇市、熊本県産山村は九州の中央に位置し、県庁所在地の大分市・熊本市まで約60kmに位置する。

【広域図】



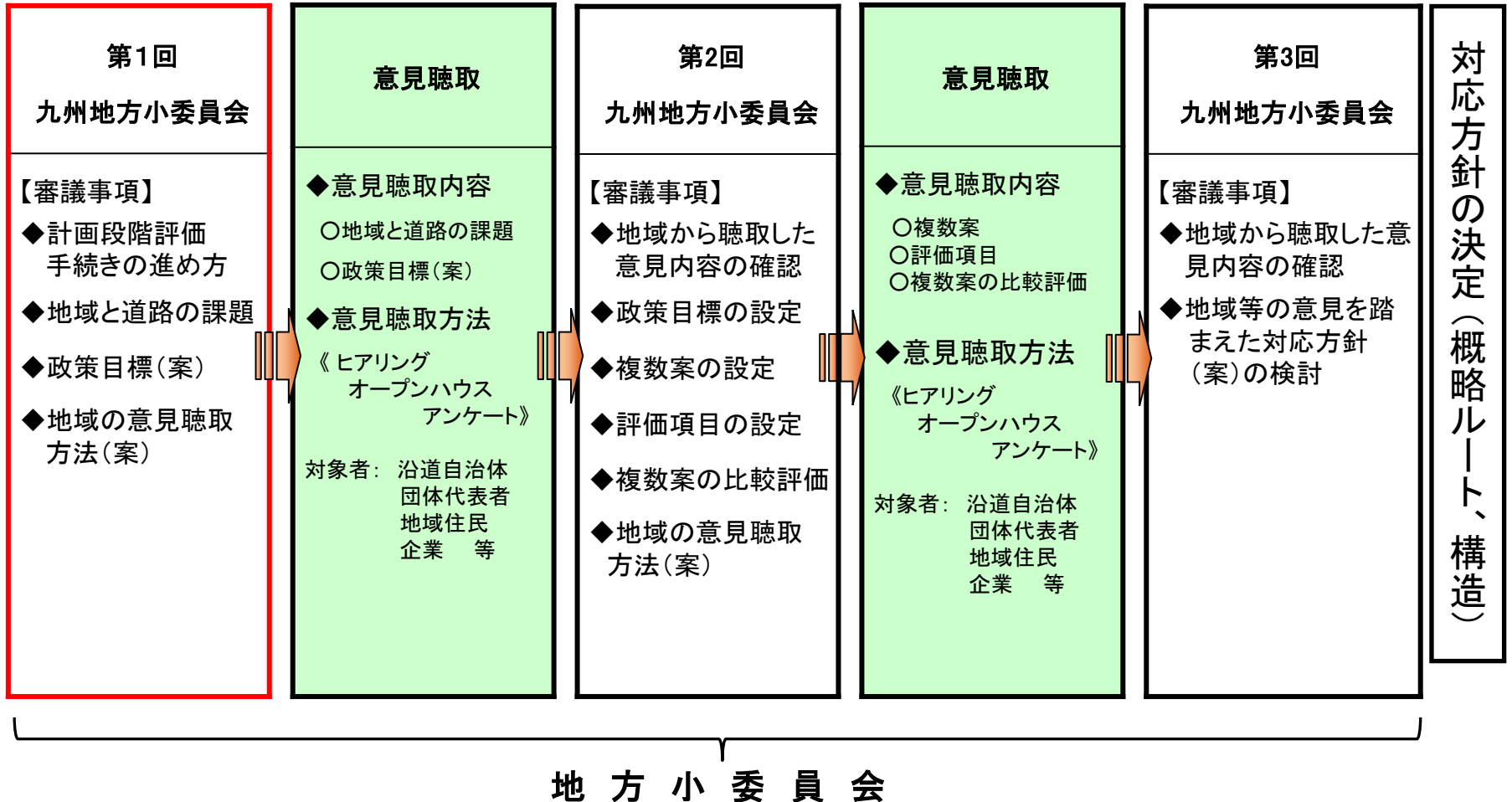
【対象区間位置図】



2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

2. 計画段階評価手続きの進め方(案)

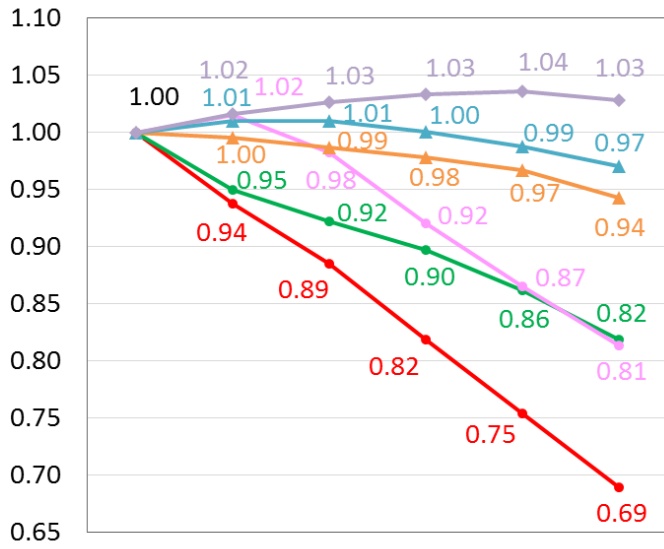
【平成29年3月30日】



3. 地域の現状と課題

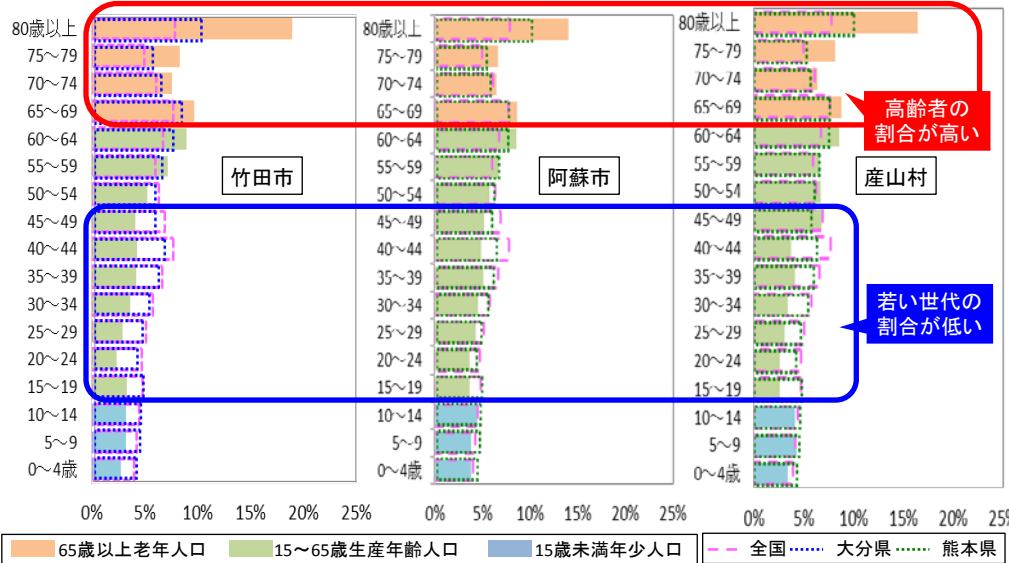
3-1. 地域の現状 <人口・高齢化率>

- 竹田市・阿蘇市・産山村の人口は年々減少傾向にあり、平成2年から平成27年にかけて、約2～3割減少している。
- 竹田市・阿蘇市・産山村の高齢化率は、約3～4割と全国・県平均を大きく上回る。
- 竹田市は人口減少・高齢化対策として、定住政策を進め、6年間で約250人移住している。

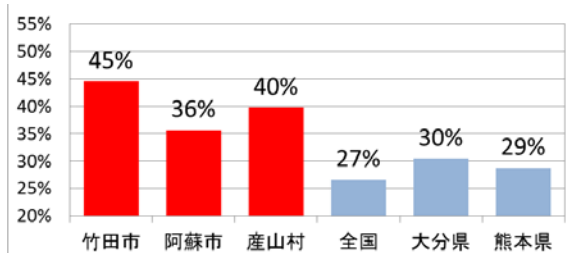


全国
熊本県
大分県
阿蘇市
産山村
竹田市

人口減少が顕著

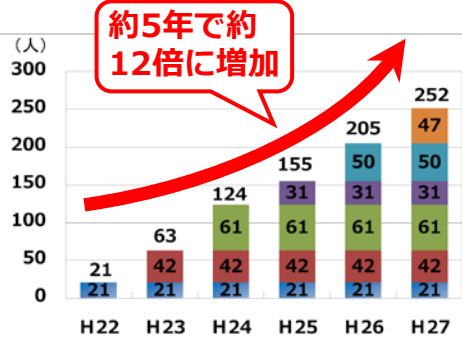


▲竹田市、阿蘇市、産山村と大分県ほかの人口の伸び (対H2)



▲高齢化率 (65歳以上人口割合)

資料：H27年国勢調査



▲竹田市移住者数の累計

資料：竹田市資料

○竹田市では空き家バンクなどの農村回帰助成制度を創設するなど、定住促進策を進めています。
H26.9 竹田市

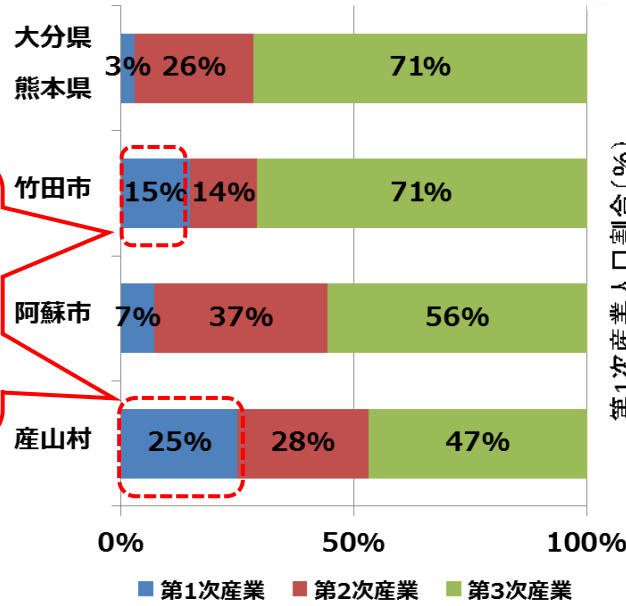


3-1. 地域の現状 <産業構造>

○竹田市、産山村の第一次産業が占める割合は大分県・熊本県の平均に比べ高い。
 ○竹田市の基幹産業は第一次産業であり(第一次産業人口割合は全国第1位)、主にトマト、だいこん、レタス、キャベツなどを生産している。

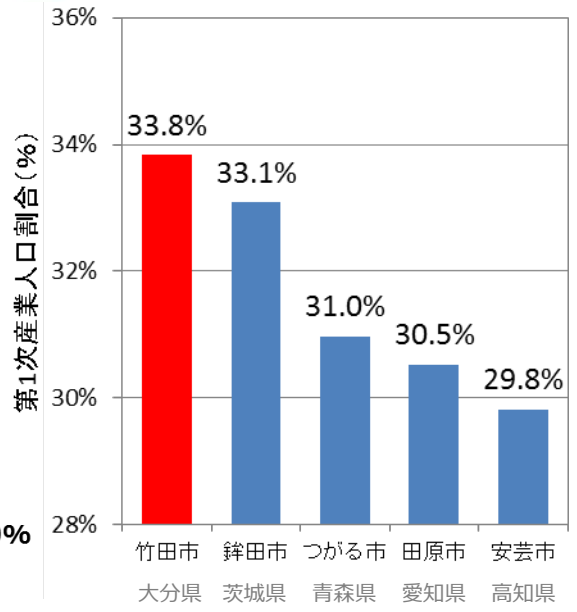
1位 第1次産業人口割合 全国1位

竹田市、産山村は、大分県・熊本県の平均に比べ第1次産業の占める割合が高い



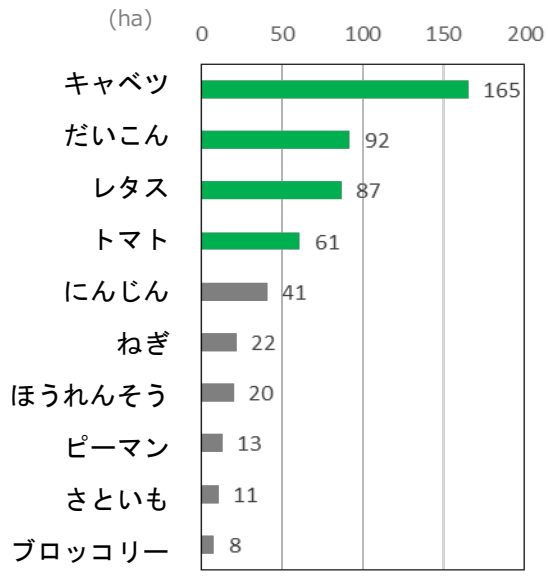
▲総生産額における各産業の割合

資料：H25大分の市町村経済計算、H25市町村所得統計（熊本県）



▲第1次産業人口割合の全国順位（市区を対象）

資料：H22国勢調査



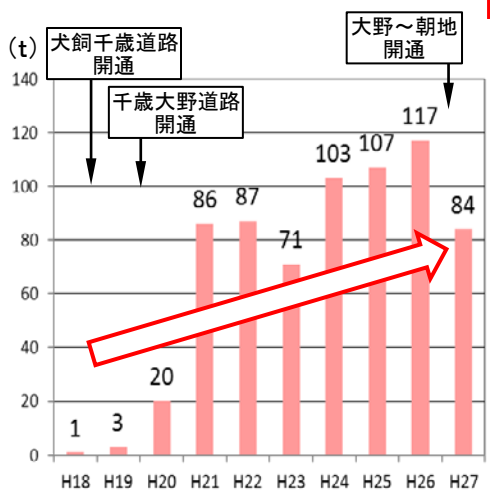
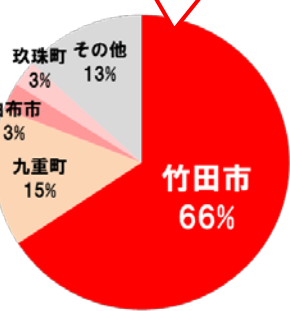
▲竹田市の野菜類の作付面積

資料：2015年農林業センサス

3-2. 地域の現状と課題 <農業>

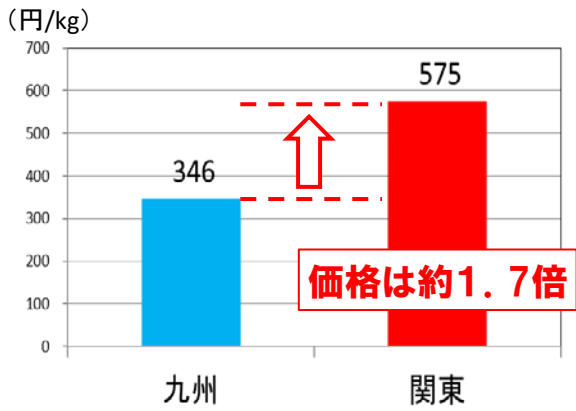
- 竹田市はトマトの生産量が多く、大分県内の約7割の出荷量を誇っている。
- また、中九州横断道路の整備が進む中、取引価格の高い関東方面へ販路を拡大しており、出荷量も年々増加傾向。
- しかし、輸送経路には通行止めや線形不良箇所が多く存在するなど、信頼性・走行性の確保が課題。

大分県の約7割を占める

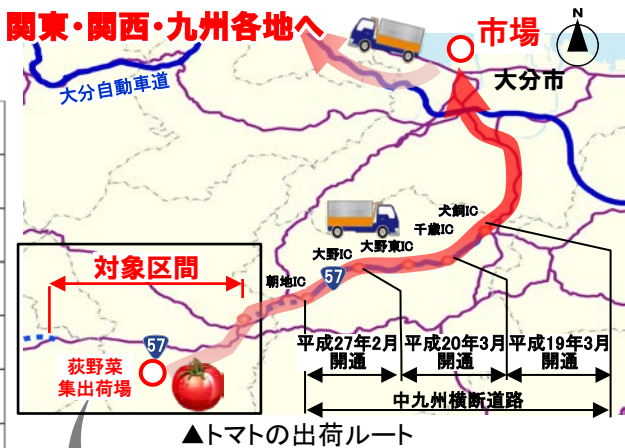


▲大分県産夏秋トマトの出荷量の内訳

▲大分県産トマトの関東地方卸売数量の推移
資料：H27青果物卸売市場調査、H27野菜生産出荷統計



▲大分県産トマトの卸売先別卸売価格
資料：H27 青果物卸売市場調査

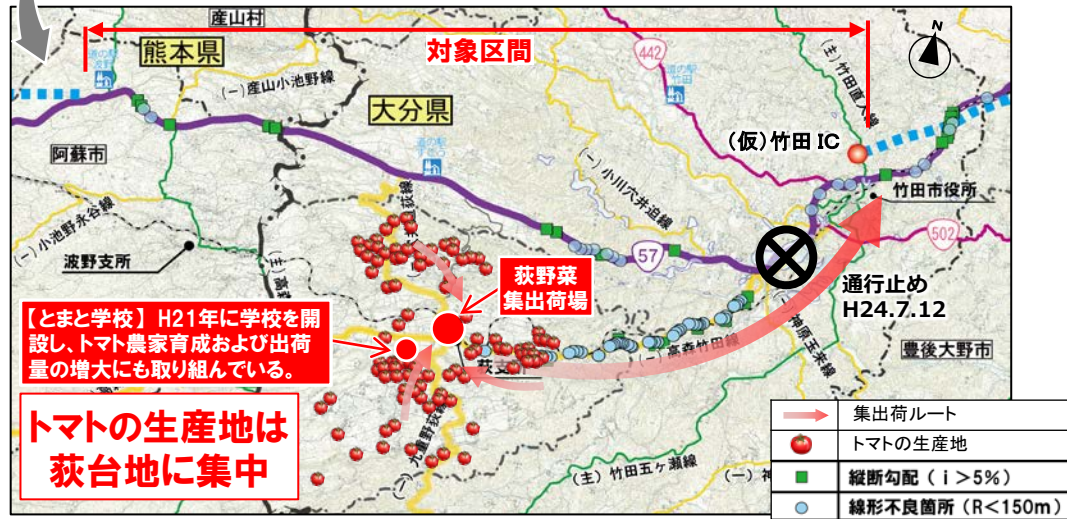


▲国道57号の線形不良箇所

分類	基準値※	線形不良箇所
平面線形	150m未満	46箇所
縦断勾配	5%超過	8箇所

※設計速度60km/hの基準値

▲出荷ルートの線形不良
※出荷ルート：対象区間の国道57号と(一)高森竹田線



▲トマトの生産地・出荷ルートと線形不良箇所 資料：トマトの生産地は竹田市より提供

○国道57号が通行止めとなった時は、出荷がストップしました。
○また現状では輸送に時間がかかっているが、輸送時間が短縮できれば農家の収穫時間増加等のメリットが期待できる。



3-2. 地域の現状と課題 <ガソリン等の輸送>

○熊本県のガソリンは、主に九州唯一の製油所を有する大分県から陸送されており、ほとんどが国道57号を利用している。
 ●しかし、災害時の迂回、線形不良等による運転手への負担など、**信頼性・走行性の確保が課題**。



▲ H24九州北部豪雨時のガソリン等の輸送の迂回



▲国道57号の線形不良箇所

分類	基準値※	線形不良箇所
平面線形	150m未満	14箇所
縦断勾配	5%超過	9箇所

※設計速度60km/hの基準値

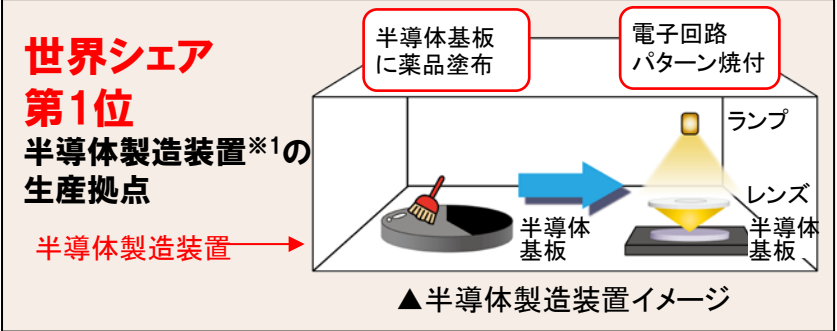
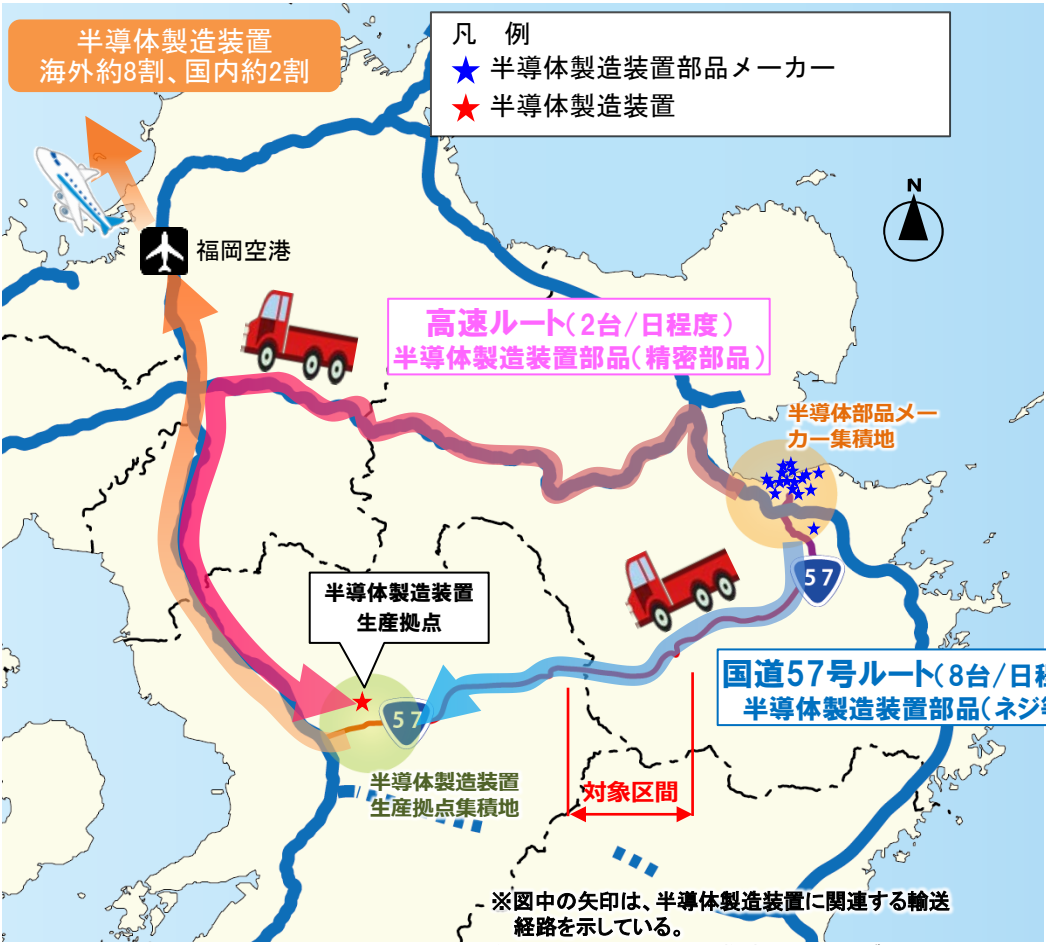
▲国道57号の対象区間の線形不良

○通行止め時には、熊本への輸送の際迂回を行ったため、通常より時間がかかった。
 ○国道57号はカーブやアップダウンが多く、スピードが出せず時間がかかり、**運転手のストレスや負担が大きい**。



3-2. 地域の現状と課題 <半導体>

○熊本県には**世界トップシェアの半導体関連の生産拠点**があり、大分市に集積する部品メーカーから部品供給を受けている。
 ●しかし、現在は半導体精密部品の輸送の一部において、熊本と大分を結ぶ最短ルートである国道57号は走行性が悪いため、大きく迂回する高速ルートを選択しており、**輸送コストが増加するなど、輸送ルートとして、走行性の確保が課題**。



※1 薬品塗布、電子回路パターン焼付工程の製造装置

分類	基準値※	線形不良箇所
平面線形	150m未満	14箇所
縦断勾配	5%超過	9箇所

※設計速度60km/hの基準値
 ▲国道57号の対象区間の線形不良

○衝撃の影響を受けやすい精密部品は高速道路を利用。
 ○竹田市内から滝室坂が特に走行性が悪く、走行性の高い自動車専用道路となれば、国道57号で輸送する可能性がある。

H28.1 物流企業ヒアリング

▲ 半導体製造装置関連部品の輸送ルート、輸送台数



3-2. 地域の現状と課題 <大災害>

○国道57号は、東九州・西九州唯一の広域防災拠点を結ぶ重要な路線であり、「緊急輸送ルート」に指定されている。また「九州道路啓開計画」においても「最優先の啓開ルート」となっている。

●しかし、平成28年熊本地震、平成24年7月の九州北部豪雨時には、**国道57号自体が通行止め**となった他、救助・救急車両が一般車両の渋滞に巻き込まれ救助・救急活動が遅れる事態も生じており、**被災時の啓開ルートの確保が課題**。



- 広域防災拠点
- 九州の広域防災拠点は、熊本空港と大分スポーツ公園の2箇所のみ。
 - 被災地に派遣する自衛隊や消防などの応援部隊の拠点で救助・救急、消火活動等、医療活動、物資の受入れ・集積・分配を総合的かつ広域的に行う拠点。
 - 熊本空港は大分県からの広域的な患者の受け入れも行う。

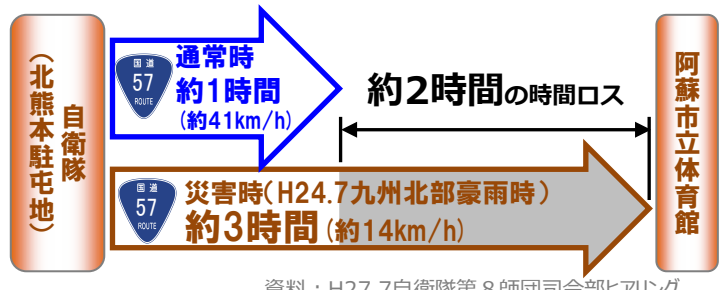
- 緊急輸送ルート【広域移動ルート】
(九州道路啓開計画)
- 南海トラフ地震時の緊急輸送ルート
(内閣府中央防災会議幹事会にて位置づけ)
- H24.7九州北部豪雨時渋滞区間(国道57号)

資料：南海トラフ地震発生時の九州地方における現地対策本部の設置候補施設について (H27.4 内閣府)、南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画 (H27.3 内閣府 中央防災会議幹事会) 九州道路啓開計画 (H28.3 国土交通省)、H27.7自衛隊第8師団司令部ヒアリングより作成

■H24.7九州北部豪雨時国道57号(緊急輸送ルート)の遅れ



- 被災時の救助・救急は一刻を争うため、自衛隊、消防・警察等の応援はいち早く到着してほしい。
H28.2 阿蘇市ヒアリング
- 九州北部豪雨の際、国道57号を利用して被災地に向かったが、渋滞に巻き込まれ移動時間に3時間を要するなど、救助・救急活動に支障が生じた。
H27.7 自衛隊第8師団司令部ヒアリング

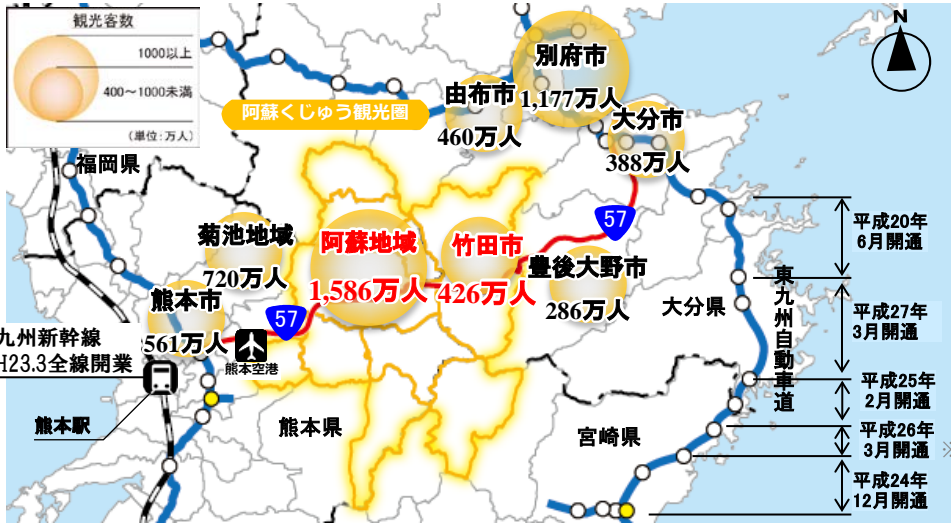


資料：H27.7自衛隊第8師団司令部ヒアリング

▲国道57号で渋滞に遭遇する自衛隊
資料：自衛隊第8師団司令部

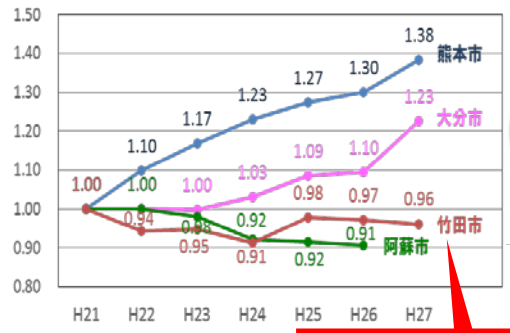
3-2. 地域の現状と課題 <観光>

- 阿蘇や竹田など国道57号沿線地域は、観光資源が多く、「阿蘇くじゅう観光圏整備計画」の認定を受け、世界レベルの滞在交流型観光地を目指しており、ポテンシャルの高い地域である。
- しかし、九州新幹線や東九州自動車道の開通などで観光客の増加が見られる大分市や熊本市などに比べ、竹田市と阿蘇市の観光宿泊者数は横ばい。
- 熊本・大分県への観光客は、自県以外立ち寄らない割合が高く、観光地間の周遊性向上の確保が課題。



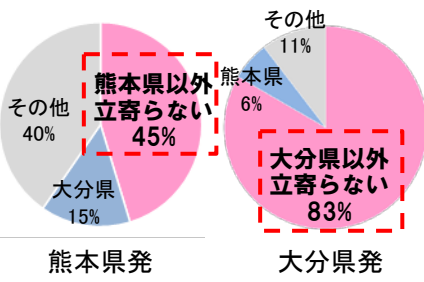
▲主要な観光地の分布及び年間観光客

資料：H19大分県統計年鑑（記載年：H18）
H27熊本県観光統計



▲観光宿泊者数の推移 (対H21) **竹田市・阿蘇市の宿泊者数は横ばい**

資料：熊本県観光統計、大分県観光統計調査、阿蘇市資料
※大分市・竹田市H27値は速報値のため確報値と大きく異なることがある

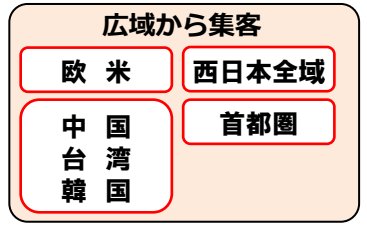


▲熊本県・大分県を訪れた後の立寄り状況
資料：H27大分県観光実態調査報告書、H23熊本県観光課資料

○観光地間の移動時間が長いので、周遊性の悪さを感じている。
H27.8旅行会社ヒアリング

【阿蘇くじゅう観光圏のイメージ】

■広域観光ネットワークの確立



資料：阿蘇くじゅう観光圏整備計画より作成

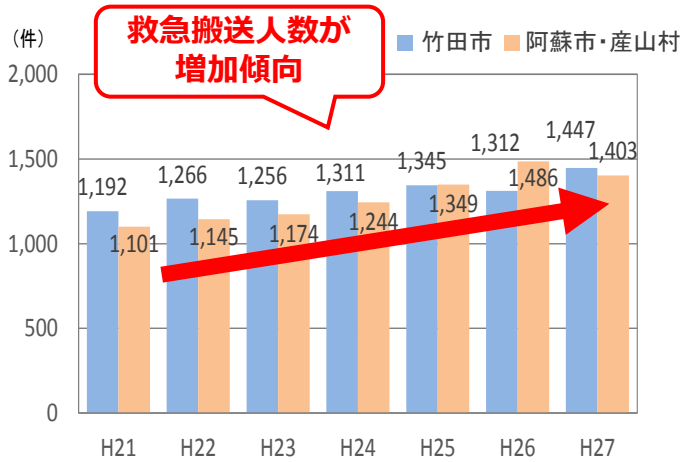


提供：公益社団法人ツーリズムおおいた

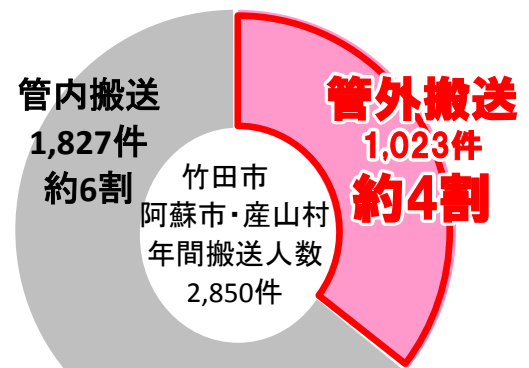
▲阿蘇くじゅう観光圏整備計画の滞在促進地区

3-2. 地域の現状と課題 <高次医療施設への搬送>

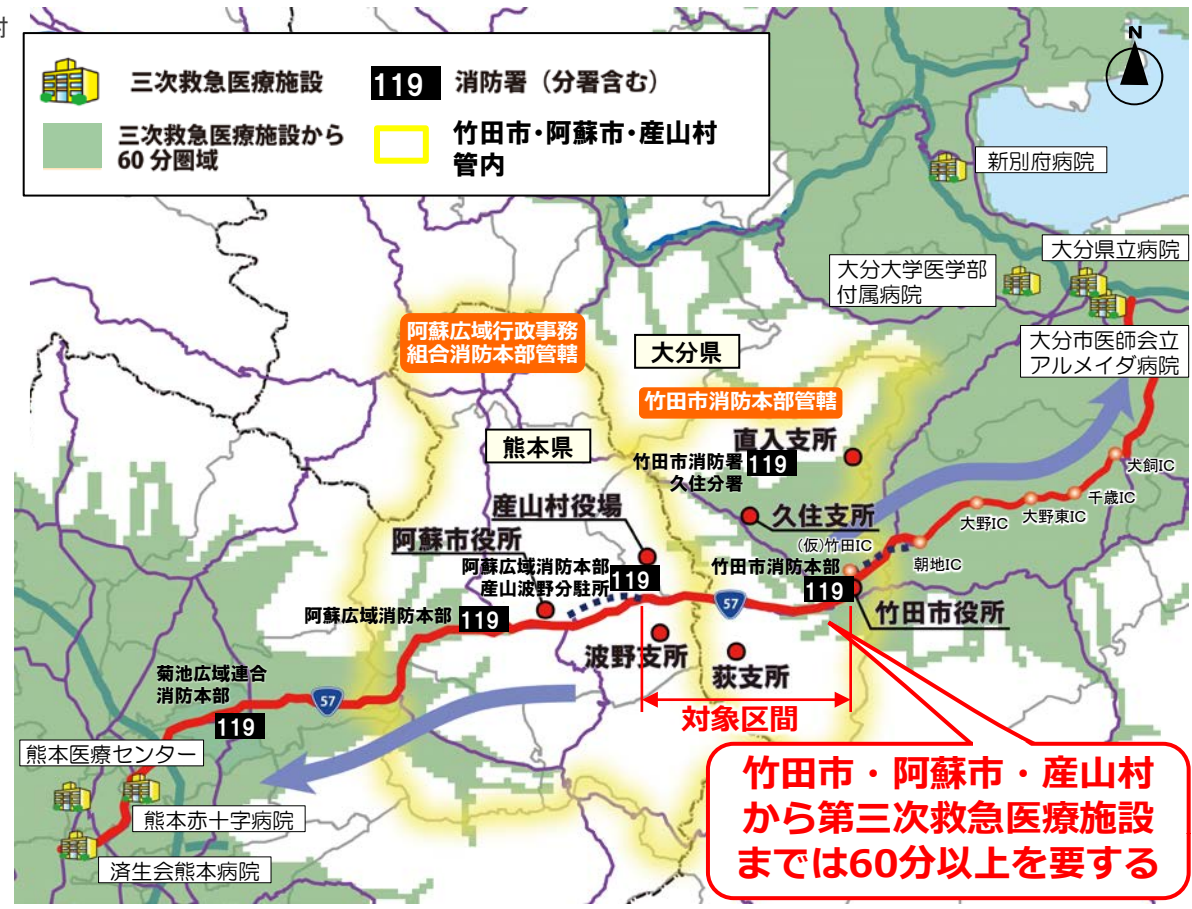
○竹田市、阿蘇市・産山村では救急搬送人数が年々増加傾向であり、約4割が管外搬送。
 ●大分・熊本市内の第三次救急医療施設までは60分以上を要する地域があり、高次医療施設までの速達性の確保が課題。



▲竹田市・阿蘇市・産山村における救急搬送件数
 資料：竹田市消防本部、阿蘇広域行政事務組合消防本部



▲管外搬送の割合 (H27)
 資料：竹田市消防本部資料、阿蘇広域行政事務組合消防本部資料



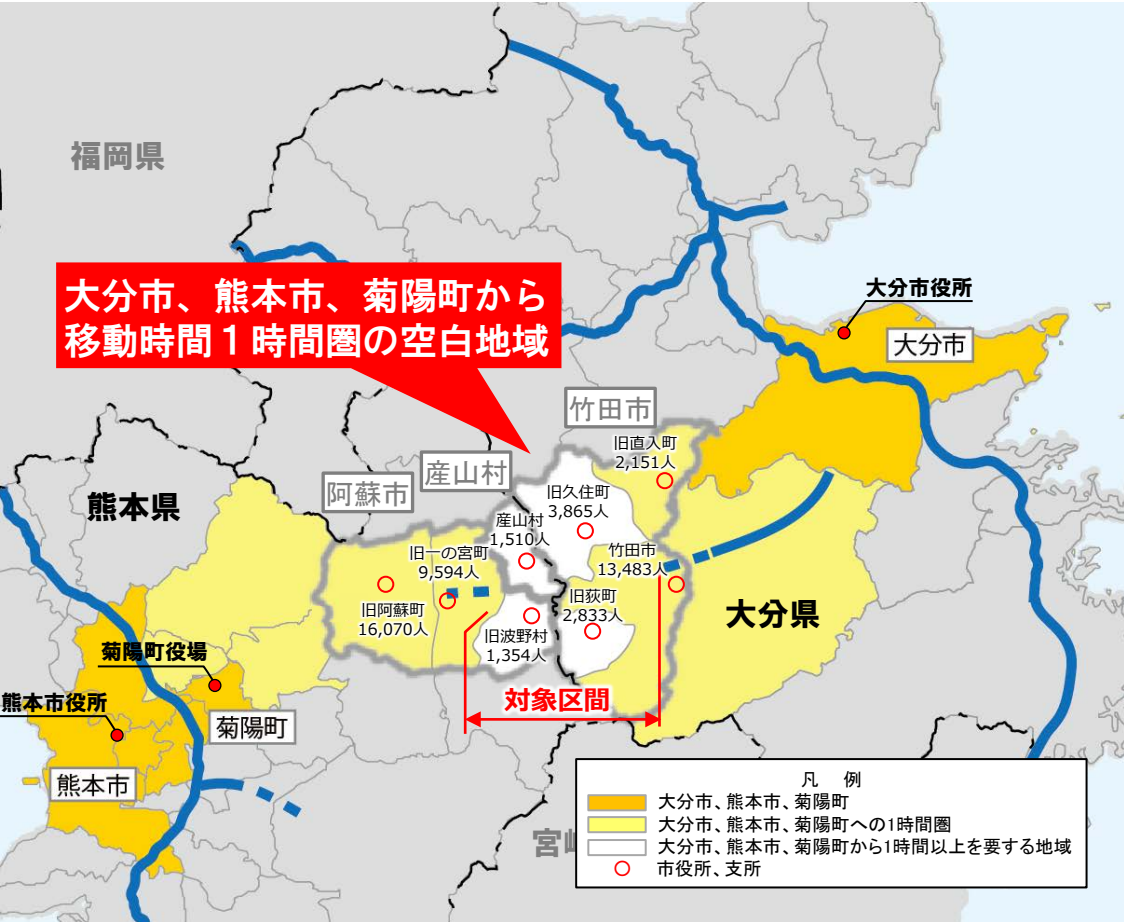
▲第三次救急医療施設の立地状況と60分圏域
 ※60分圏域はH22センサスの旅行速度を用いて算出。起点は第三次救急医療施設とする。

○1分でも早く病院に搬送することが極めて重要であり、第三次救急医療施設まで所要時間がかかることに課題を感じている。 H27.8 竹田市消防本部 ヒアリング



3-2. 地域の現状と課題 <暮らし>

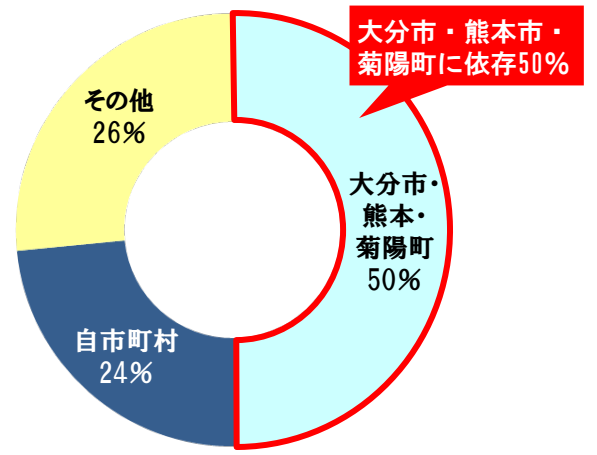
○竹田市、阿蘇市、産山村は、買い物など日常生活において、大分市、熊本市、菊陽町に約5割が依存している。
 ●対象区間の一部地域においては、**移動に1時間以上要しており、速達性が課題。**



▲大分市、熊本市、菊陽町からの1時間圏

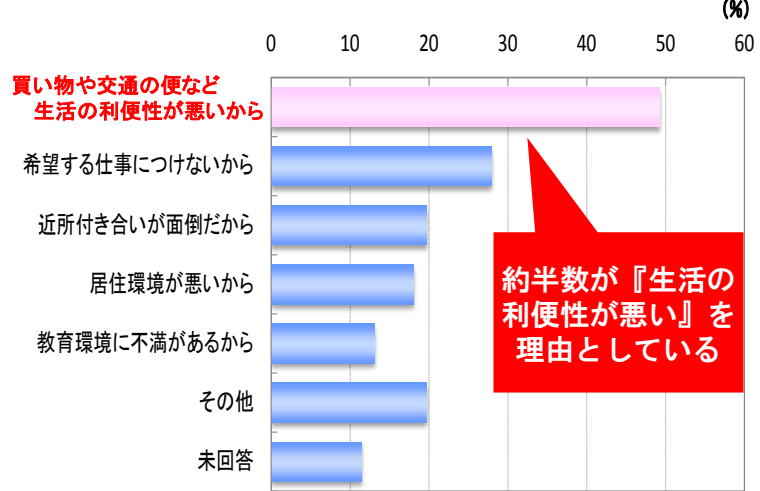
※1時間圏は国道57号沿線の地域を対象とし、H22センサスの旅行速度を用いて算出。また、熊本市役所、大分市役所、菊陽町役所を起点とし、役所、役場を終点とした場合の1時間圏を市町村単位で判定。(竹田市、阿蘇市は支所を終点として旧市町村単位で判定)。人口はH27国勢調査。

○最も多い転出志向理由は、大分市等への買い物の行きづらさや、通勤・通学などの交通の便の悪さなど、**移動時間の長さが要因**となっている。
 H28.1 竹田市ヒアリング



▲竹田市・阿蘇市・産山村居住者の買回り品の購入場所

※買回り品(服・靴など)を対象
 資料：大分県中心市街地等消費動向調査(H25)、熊本県消費動向調査(H24)

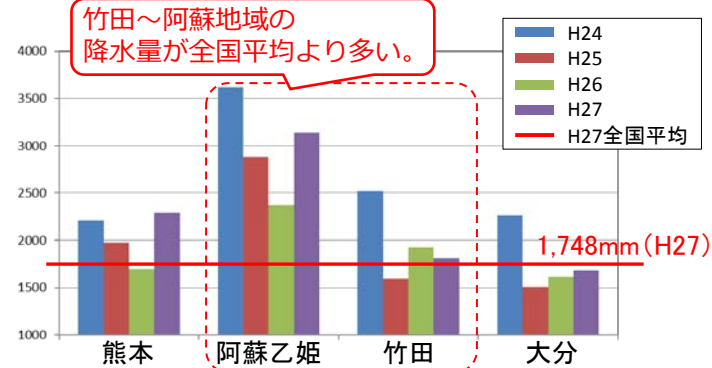


▲竹田市の転出志向者の転出理由

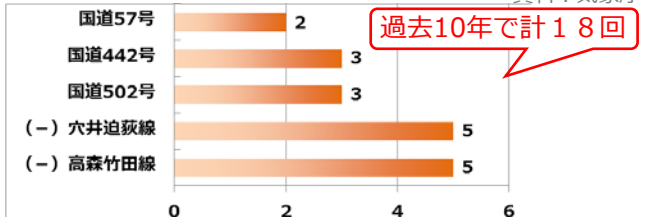
資料：竹田市総合計画 たけた活力創造計画2006 15

3-2. 地域の現状と課題 <大雨による道路の通行止め状況>

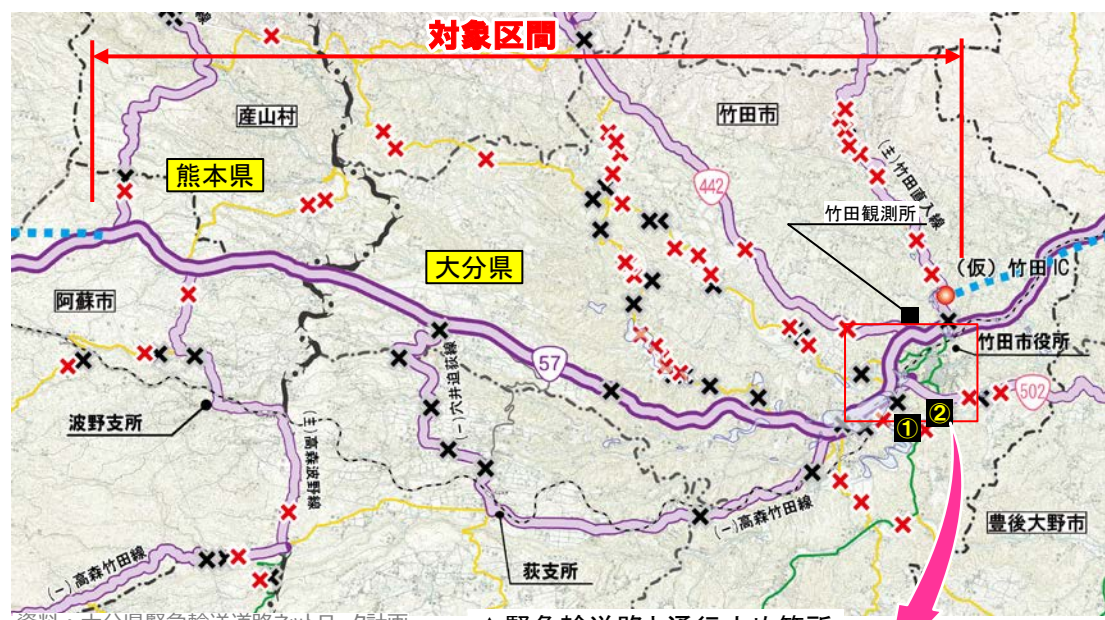
- 竹田市・阿蘇市は、全国平均より降水量は多く、緊急輸送道路では通行止めが過去10年間で計18回発生している。
- 特に、平成24年7月の九州北部豪雨時には、浸水等により竹田市内では国道57号を含めた**全ての緊急輸送道路が寸断**した。



▲国道57号沿線の年間降水量 (H24～H27) 資料：気象庁



▲竹田～阿蘇の緊急輸送道路の通行止め実績(H18～H27) 資料：国土交通省、大分県



資料：大分県緊急輸送道路ネットワーク計画 熊本県緊急輸送ネットワーク図



- ✕ H24.7九州北部豪雨に伴う主な道路通行止め箇所
- ✕ H18～H27間の災害による通行止め箇所
- H24.7九州北部豪雨に伴う浸水域
- 緊急輸送道路 (国道57号) (大分県・熊本県緊急輸送道路)
- 緊急輸送道路 (" 以外) (大分県・熊本県緊急輸送道路)



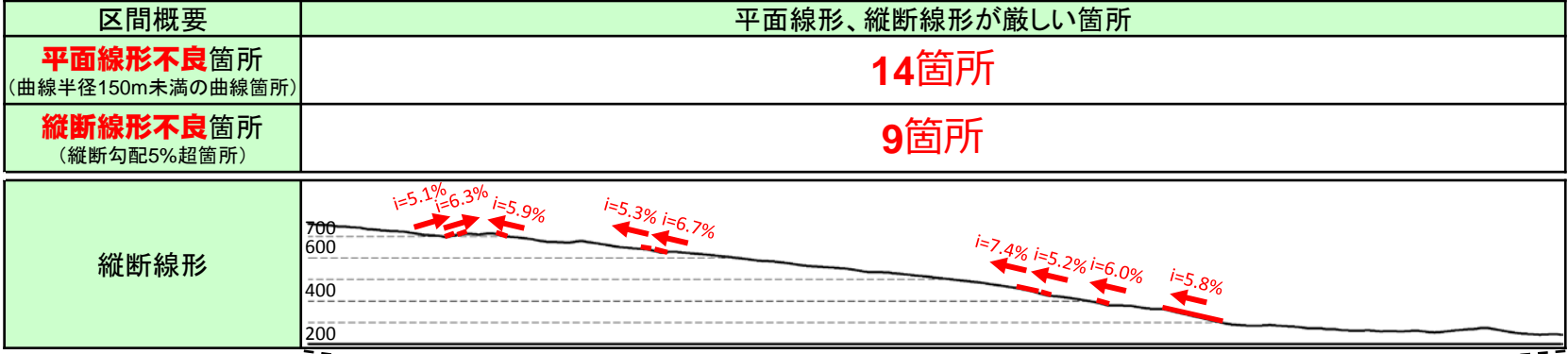
▲竹田市街の浸水域 資料：7.12竹田市豪雨災害検証会議資料より作成



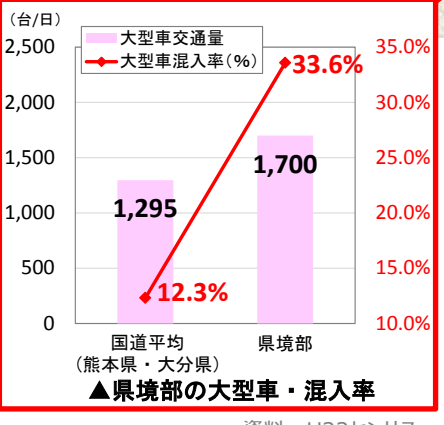
- 九州北部豪雨の際は、緊急輸送道路がすべて通行止めになったため、竹田中心部において救助車両等が迂回路を探して大混乱となった。
 - 竹田医師会病院、警察署前の国道57号が浸水により通行できず、業務に支障が生じた。
 - 災害時において、安全で安心して走行できることが重要である。
- H27.8竹田市ヒアリング

3-2. 地域の現状と課題 <道路の線形不良>

- 対象区間は、大型車交通量や大型車混入率が熊本・大分県の国道平均を大きく上回るなど、**大型車が特に多い**。
- また、**急カーブが連続する区間**や**急勾配箇所**が多く、走行性に課題がある。



対象区間(国道57号 L=約22km)

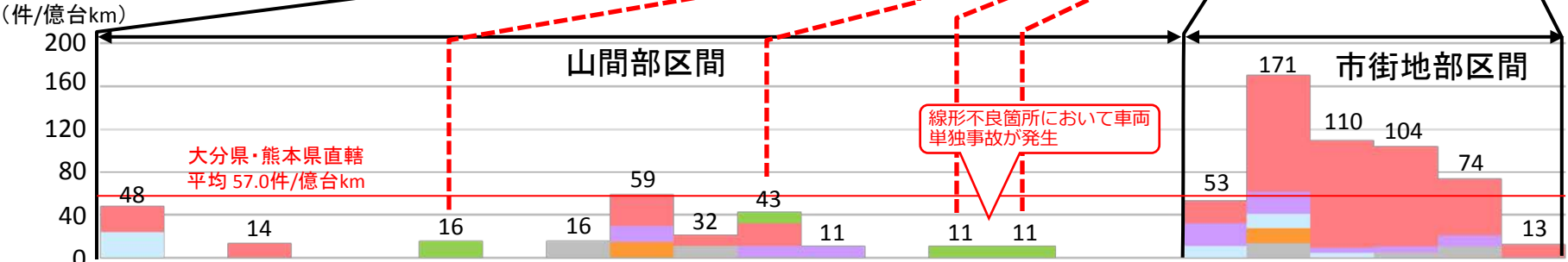


3-2. 地域の現状と課題 <交通事故>

- 対象区間の市街地部は、大分県・熊本県平均に比べ死傷事故率が高く、渋滞に伴う「追突」事故が多い。
- また、山間部は死亡・重大事故に直結しやすい「車両単独」事故が多く、安全性の確保が課題。

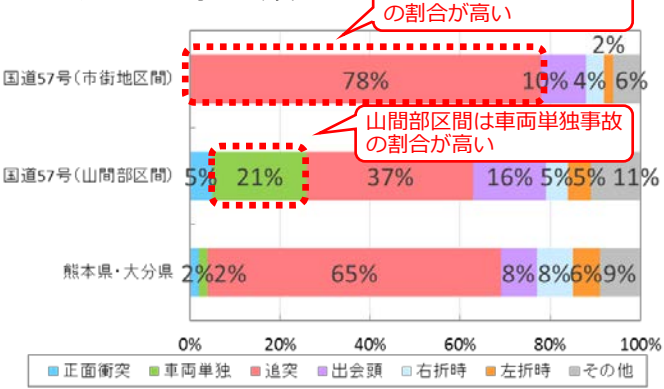


■現道の死傷事故率

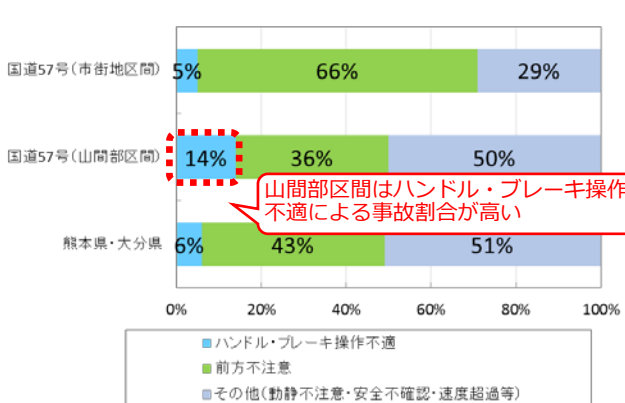


資料：ITARDAデータ (H23~H26)

■現道の事故類型



■現道の事故要因



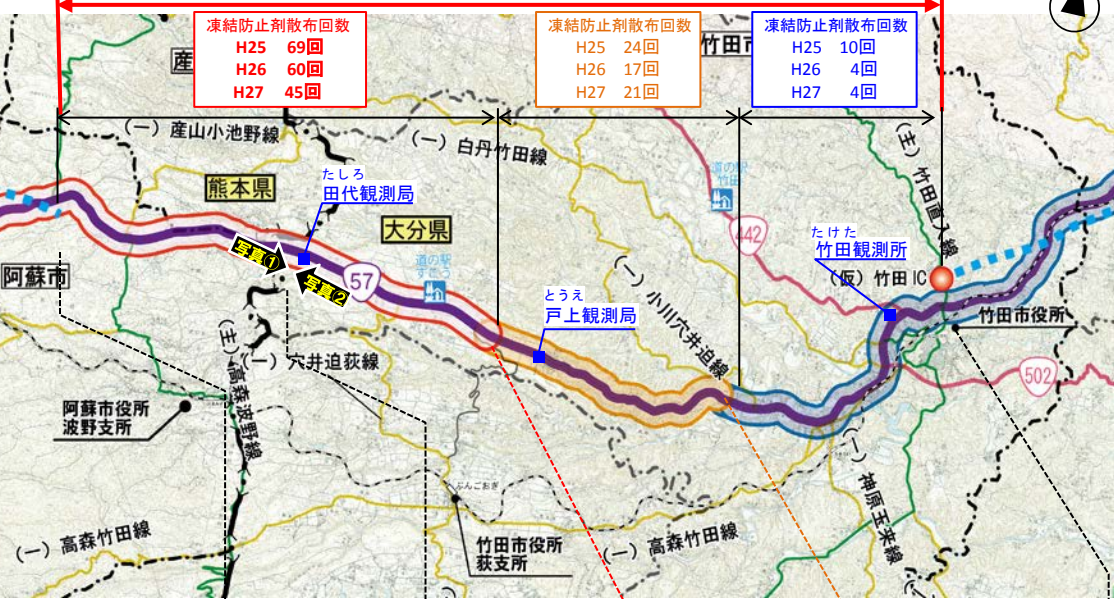
②渋滞状況 (天神交差点)



3-2. 地域の現状と課題 <冬季における道路>

- 現道は山間部であり標高が高いため、冬季の日最低気温のうち5割以上は氷点下となり、凍結が多く走行条件が低下。
- 特に県境部付近では、約6割が氷点下となり、上り勾配が急であるためスリップによる車両のスタックが発生。

対象区間

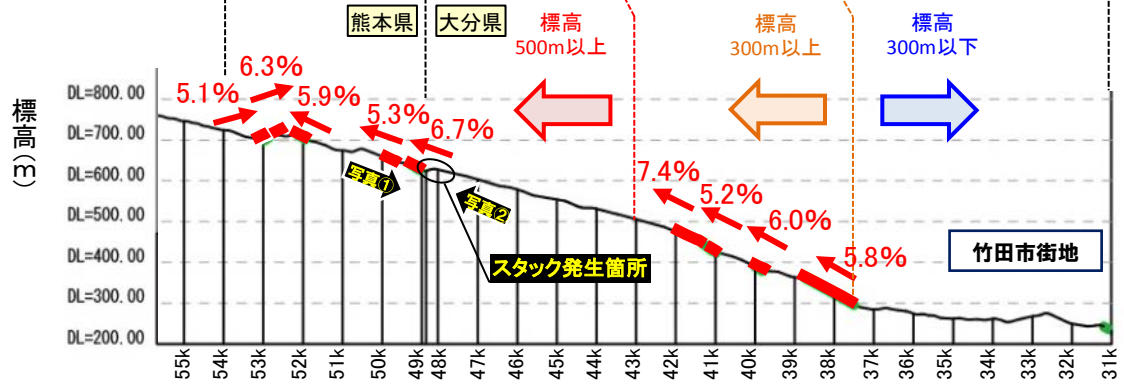


竹田市では、冬季の日最低気温のうち約5割以上、特に県境付近では約6割が氷点下となる

■最低気温とその日数

観測局・観測所名称	標高 (m)	所在地	冬季の平均最低気温(°C)				冬季の最低気温0°C以下	
			12月	1月	2月	平均	日数 (日)	日数割合 (%)
田代	629	竹田市大字小塚	2.0	-0.7	-0.5	0.3	54	59.3
戸上	478	竹田市大字戸上	2.8	0.2	0.3	1.1	47	51.6
竹田	290	竹田市大字会々	2.3	-0.4	-0.5	0.5	49	53.8
大分	5	大分市長浜町	6.7	2.9	2.8	4.2	10	11.0

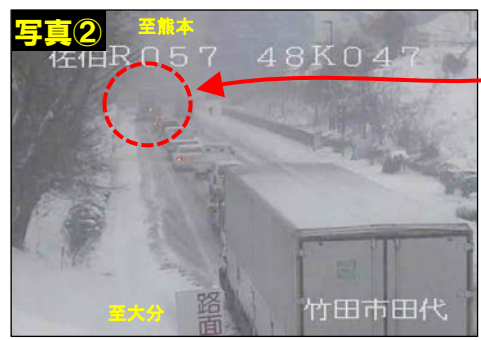
※冬季とは、12月～2月の3ヶ月を指す
資料：田代、戸上は国土交通省の観測局データ（平成27年度）、竹田、大分は気象庁データ（平成27年度）



▲ 標高差による凍結防止剤散布回数（平成25～27年）
資料：竹田維持出張所・阿蘇国道維持出張所資料



撮影日：H26.2.13



撮影日：H26.2.13

積雪により県境付近の急な上り勾配区間での大型車両のスタックが発生

3-3. H28年熊本地震による影響 <ガソリン等の輸送>

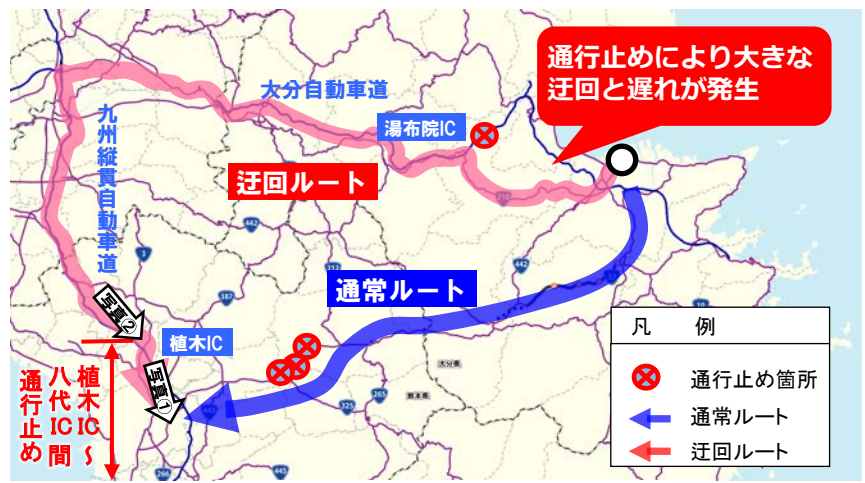
- 平成28年熊本地震の発生により、国道57号阿蘇大橋付近の通行止めなど熊本県と大分県の至るところで通行止めが発生。
- 大分から熊本方面へのガソリン輸送に、大きな迂回と遅れが発生し、被災地のガソリンスタンドでは、長い順番待ちやガソリン不足により営業を取り止める店も発生。



▲平成28年熊本地震震源地と通行止め箇所

○通行止め:4月17日時点 国道以上を対象(ミルクロード・眉山バイパスを追加)
資料:熊本県被害情報第5報(4月16日24時)、大分県災害情報 第4報(4月17日_15時30分)

○震度5以上を対象(4.14~4.25の期間)
資料:気象庁



▲平成28年熊本地震時の迂回輸送経路



▲写真①ガソリンスタンドの行列 (熊本市中央区)
資料:毎日新聞社提供
平成28年4月16日(土)撮影



▲写真②植木ICから熊本市内へ向かうタンクローリー (大分ナンバー)
資料:平成28年4月20日(水)撮影

国道57号が通行止めのため、湯布院ICから高速道路を利用して、熊本方面へガソリンを約5ヶ月間輸送していました。

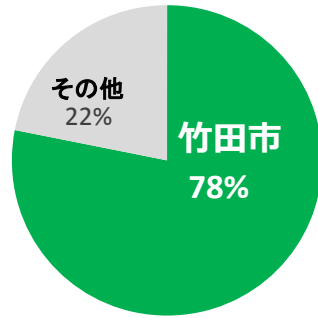
H28.9物流企業ヒアリング



3-3. H28年熊本地震による影響 <農業>

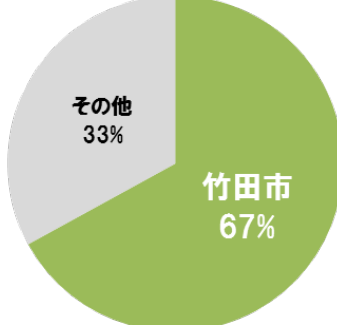
○竹田市はキャベツやレタスの県内最大の生産地であり、熊本県や福岡県に出荷されている。
 ●H28年熊本地震による国道57号通行止めの影響で、湯布院IC経由に迂回して熊本や福岡方面へ輸送。この影響で、燃料費や輸送時間の増加によるコスト増といった被害が発生。

■キャベツの収穫量
県内ランキング



資料: H18年野菜生産出荷統計

■レタスの収穫量
県内ランキング

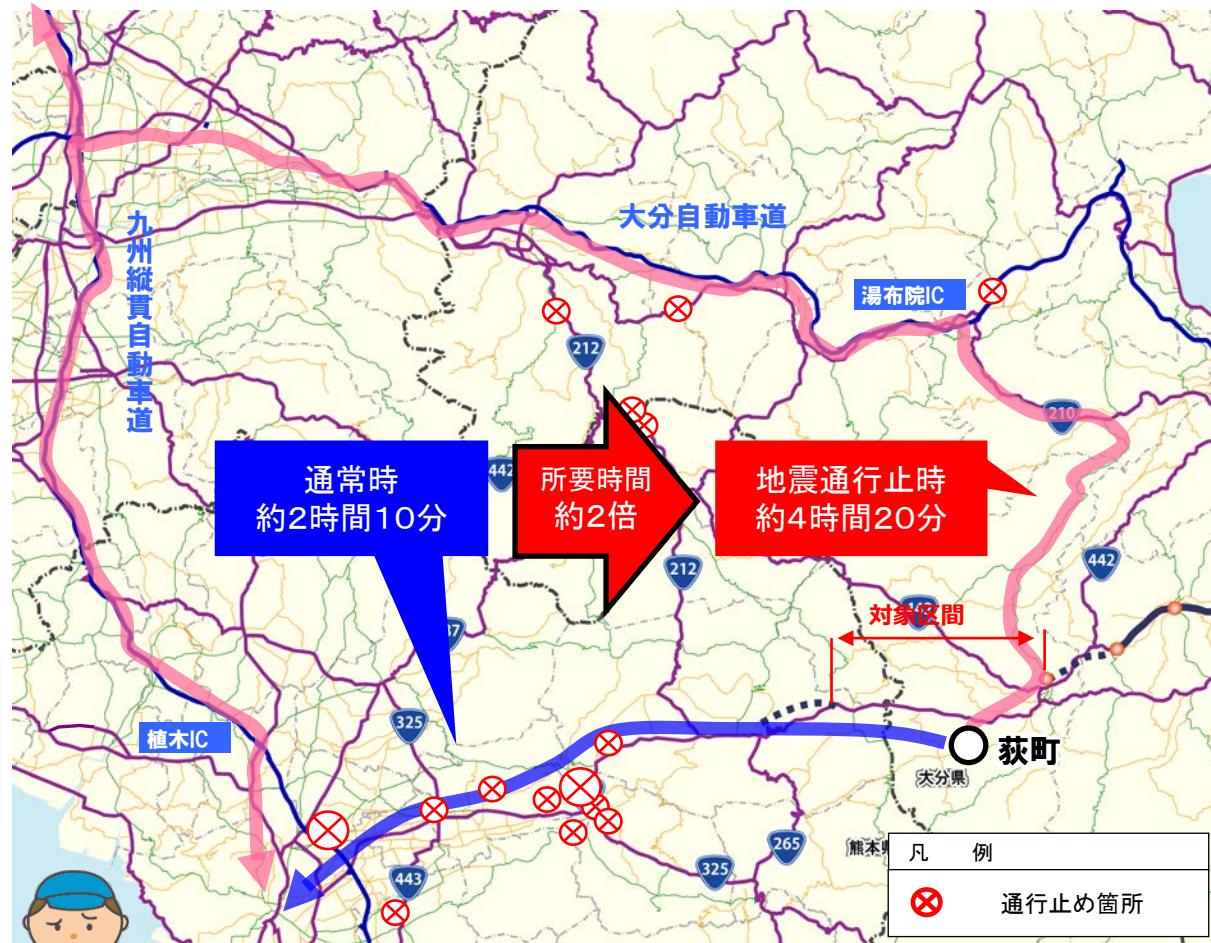


資料: H27年野菜生産出荷統計



国道57号の通行止めにより、熊本・福岡方面の出荷は湯布院ICから高速道路を利用した。この影響で燃料や輸送時間の増加によるコスト増加がある。
 H28.5竹田市役所ヒアリング

■荻から福岡・熊本方面へのキャベツとレタスの輸送状況



資料: H22センサス速度より算出



4. 政策目標(案)の設定

4-1. 地域及び道路の現状と課題

地域の現状と課題

①防災

- 国道57号は、熊本県と大分県の広域防災拠点を結ぶ重要な緊急輸送道路であり、最優先の啓開ルート。
- 熊本地震や九州北部豪雨時には国道57号の通行止めが発生し、救助・救急活動に支障が生じており、被災時の啓開ルートの確保が課題。

②産業・物流

- 国道57号は大分～竹田・阿蘇～熊本間のトマト、ガソリン、半導体など産業活動に重要な物流路線。
- 通行止めによる迂回輸送や急カーブ等により低下する信頼性・走行性の確保が課題。

③観光

- 国道57号沿線地域は、阿蘇くじゅう観光圏整備計画の認定を受けるなど、観光ポテンシャルが高い。
- 熊本・大分県への観光客は、移動時間が長いため自県以外に立ち寄らない割合が高く、観光地間の周遊性向上が課題。

④医療

- 救急搬送人数が年々増加傾向。
- 大分・熊本市内の第三次救急医療施設まで60分以上を要し、速達性の確保が課題。

⑤暮らし

- 買い物など日常生活において、大分市、熊本市等に依存している。
- しかし、買い物や交通の便など生活の利便性が悪く、速達性の確保が課題。
- 市街地部は死傷事故率が高く追突事故が多い。山間部は死亡・重大事故に直結しやすい「車両単独」事故が発生し、安全性の確保が課題。

道路による要因

- 災害時において通行止めとなるなど災害に弱い。
- 九州北部豪雨時では竹田市内のすべての緊急輸送道路が寸断。

- 通行止めや急カーブ等により信頼性・走行性が低下。
- 現道が被災した場合、代替路がなく、大幅な迂回を強いられる。

- 大分～竹田～阿蘇～熊本間の高速ネットワークが不十分。

- 竹田・阿蘇地域から第三次救急医療施設への速達性に劣る。

- 大分市、熊本市、菊陽町への速達性が低く移動が不便。
- 市街地部では渋滞に起因する追突事故、山間部では急カーブ・急勾配区間で安全性が低く、車両単独事故が発生。

4-2. 竹田・阿蘇地域の将来像

○竹田・阿蘇地域の将来像については、大分県、熊本県、竹田市、阿蘇市が計画を策定しており、「地域及び道路の現状と課題」に係る主要施策を以下に記載する。

- ① 大分県 大分県長期総合計画「安心・活力・発展プラン2015」
- ② 竹田市 竹田市地方創生TOP総合戦略
- ③ 熊本県 熊本復旧・復興4ヵ年戦略
- ④ 阿蘇市 阿蘇市総合計画「後期基本計画」

施策の柱	主要施策(抜粋)
1. 防災	<ul style="list-style-type: none"> ①緊急輸送道路や集落の孤立を防ぐ道路におけるのり面対策の推進。 ③九州の横軸のリダンダンシー確保を図るため、中九州横断道路等の整備を促進します。 ④緊急輸送道路は災害の重要な輸送道路であり、通行を確保する。
2. 産業・物流	<ul style="list-style-type: none"> ①広大な畑地や中九州横断道路延伸を生かした企業参入の推進。トマト等大規模経営体の育成。 ③企業の広域的かつ効率的な経済活動を支えるため、中九州横断道路をはじめとする幹線道路の整備促進。
3. 観光	<ul style="list-style-type: none"> ①東九州自動車道の開通及び中九州横断道路の延伸を見据えた観光素材の磨き上げとPRの推進 ③九州内外からの観光客を誘客し、周遊性を高め、県内の滞在時間の増加を図るため、主要な観光資源と新幹線駅、空港、港湾等の交通結節点を結ぶ道路整備を進めます。
4. 医療	<ul style="list-style-type: none"> ②平成30年度には中九州横断道路竹田ICが開通し、大分と本市(竹田市)の時間距離が大幅に短縮されます。今後は医療福祉、産業、観光振興等の分野において高規格道路等の広域ネットワークを活用した環境整備を図ります。 ③公共施設や医療施設など都市機能を有する地域と周辺の地域が連携した住みやすいまちの形成を促進するため、道路網やバスなどの公共交通網の整備等を促進します。
5. 暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ①産業の発展、地域間の連携・交流、暮らしなどを支える道路整備を進める。 ②平成30年度に中九州横断道路朝地IC～竹田IC間が開通する予定であり、竹田IC付近の利便性の高い立地で宅地開発・宅地分譲の推進を図り、若い世代の定住促進と市外からの田舎暮らしニーズを持つ子育て世代の受入を促進します。 ③地域の核となる拠点都市が人口流出を食い止める“ダム”となるよう、公共交通機関や幹線道路などの交通環境整備を進めます。

4-3. 政策目標(案)の設定

○地域の課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標(案)を設定

地域の現状と課題	道路による要因	政策目標
<p>①防災</p> <p>○国道57号は、熊本県と大分県の広域防災拠点を結ぶ重要な緊急輸送道路であり、最優先の啓開ルート。</p> <p>●熊本地震や九州北部豪雨時には国道57号の通行止めが発生し、救助・救急活動に支障が生じており、被災時の啓開ルートの確保が課題。</p>	<p>○災害時において通行止めとなるなど災害に弱い。</p> <p>○九州北部豪雨時では竹田市内のすべての緊急輸送道路が寸断。</p>	<p>①災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの構築</p>
<p>②産業・物流</p> <p>○国道57号は大分～竹田・阿蘇～熊本間のトマト、ガソリン、半導体など産業活動に重要な物流路線。</p> <p>●通行止めによる迂回輸送や急カーブ等により低下する信頼性・走行性の確保が課題。</p>	<p>○通行止めや急カーブ等により信頼性・走行性が低下。</p> <p>○現道が被災した場合、代替路がなく、大幅な迂回を強いられる。</p>	<p>②信頼性・走行性の確保による産業の活性化支援</p>
<p>③観光</p> <p>○国道57号沿線地域は、阿蘇くじゅう観光圏整備計画の認定を受けるなど、観光ポテンシャルが高い。</p> <p>●熊本・大分県への観光客は、移動時間が長いいため自県以外に立ち寄らない割合が高く、観光地間の周遊性向上が課題。</p>	<p>○大分～阿蘇～竹田～熊本間の高速ネットワークが不十分。</p>	<p>③高速ネットワーク確保による観光の振興を支援</p>
<p>④医療</p> <p>○救急搬送人数が年々増加傾向。</p> <p>●大分・熊本市内の第三次救急医療施設まで60分以上を要し、速達性の確保が課題。</p>	<p>○竹田・阿蘇地域から第三次救急医療施設への速達性に劣る。</p>	<p>④速達性向上による救急医療の支援</p>
<p>⑤暮らし</p> <p>○買い物など日常生活において、大分市、熊本市等に依存している。</p> <p>●しかし、買い物や交通の便など生活の利便性が悪く、速達性の確保が課題。</p> <p>●市街地部は死傷事故率が高く追突事故が多い。山間部は死亡・重大事故に直結しやすい「車両単独」事故が発生し、安全性の確保が課題。</p>	<p>○大分市、熊本市、菊陽町への速達性が低く移動が不便。</p> <p>○市街地部では渋滞に起因する追突事故、山間部では急カーブ・急勾配区間で安全性が低く、車両単独事故が発生。</p>	<p>⑤速達性・安全性の確保による生活利便性の向上</p>

5. 意見聴取方法(案)

5. 意見聴取方法について

1. 意見聴取の基本方針

・地域の課題・政策目標(案)に対する意見を伺う。

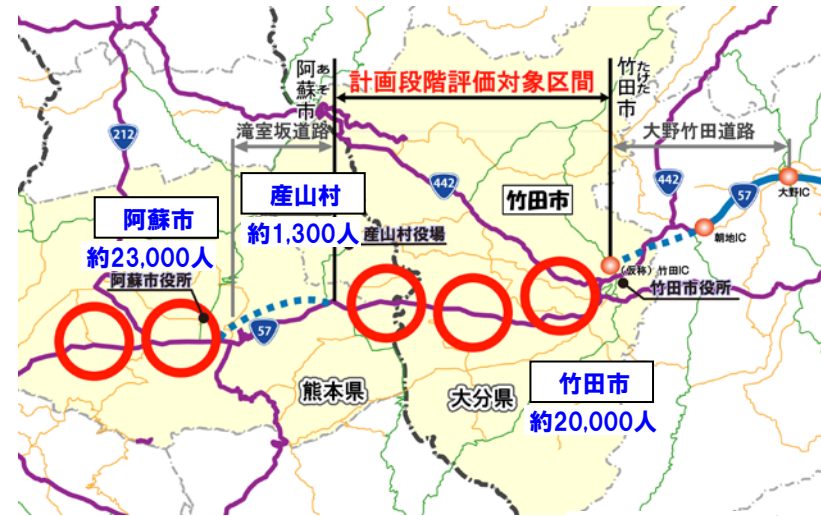
2. 意見聴取の対象

- ※1 ヒアリングは、当該道路の特性により、広域的な観点においても意見聴取を実施することとし、地域の代表者および企業等へ対面方式で意見聴取。
- ※2 オープンハウスは、各自治体市役所等での説明。アンケート票による意見聴取。オープンハウスの周知は市報などで広報。
- ※3 アンケートは、地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取。
(1世帯あたり、アンケート回答用返信ハガキを4枚同封予定)

3. 意見聴取の設問

■地域の課題、道路・交通の課題について

■地域住民意見聴取範囲



※人口は20歳以上H27国勢調査

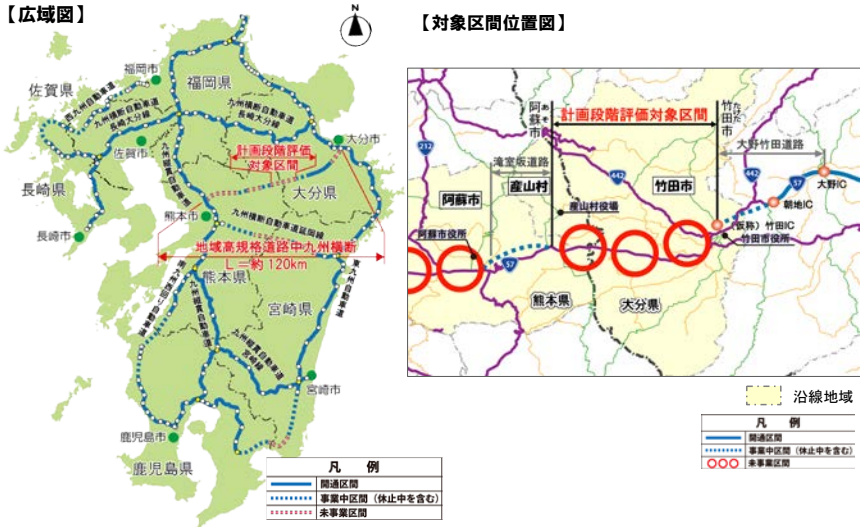
対象者		
ヒアリング ※1	【沿線自治体および団体】大分県・熊本県・竹田市・阿蘇市・産山村・各団体などへの意見聴取	
	沿線自治体:大分県・熊本県・竹田市・阿蘇市・産山村・大分市・豊後大野市・大津町・合志市・熊本市	10自治体
	各団体等:トラック協会、タクシー協会、バス協会、消防本部、農業協同組合、漁業協同組合、警察署、観光協会、商工会議所、医療機関、医師会など	20団体程度
オープンハウス (ヒアリング) ※2	【企業等】大分県・熊本県・福岡県等の関係企業への意見聴取	
	各企業:製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	主要100社程度
アンケート ※3	【地域住民】沿線の竹田市、阿蘇市、産山村の市役所等にオープンハウスを設置	
	竹田市:竹田市役所等、阿蘇市:阿蘇市役所等、産山村:産山村役場等	6箇所
	【地域住民】沿線の竹田市、阿蘇市、産山村の地域住民から対象者を無作為に抽出し、アンケート用紙を配布し意見聴取	
	竹田市 (約20,000人)	約3,200部(抽出)
	阿蘇市 (約23,000人)	約3,700部(抽出)
	産山村 (約 1,300人)	約 300部(抽出)

5. 意見聴取方法について

◆アンケート調査の調査概要説明資料(案)のイメージ

調査の主旨、調査対象箇所、地域や道路の課題等について説明

中九州横断道路(竹田～阿蘇)対象区間位置図



※計画段階評価とは

計画段階評価とは、地域の課題や達成すべき目標、地域の意見等を踏まえ、複数案の比較・評価を行うとともに、事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証するものです。

今回はここです



※九州地方小委員会の資料等は、国土交通省九州地方整備局のホームページでご覧いただけます。

中九州横断道路(竹田～阿蘇)の対象区間の課題を以下のように考えました

地域・道路の状況と課題

- #### 1 災害への備え

◆国道57号は、東九州・西九州唯一の広域防災拠点をつなぐ緊急輸送ルート・啓開ルートです。しかし災害時には通行止めや渋滞が発生し、救助・救急活動が遅れ、緊急輸送ルート・啓開ルートの確保が課題。

▲写真① 渋滞に遭遇する自衛隊

▲写真② 自衛隊が渋滞により遅れ

▲広域防災拠点【大分スポーツ公園】

▲西九州唯一の広域防災拠点【熊本空港】

▲大規模被災時の広域防災拠点と最優先の啓開ルート
- #### 2 産業・物流を支える道路

◆竹田市は全国有数のトマトの産地であり、関東方面の出荷量が年々増加しています。しかし、輸送ルートである国道57号は、通行止めや線形不良箇所が多く存在するなど、信頼性・走行性の確保が課題。

▲国道57号線形不良箇所

▲対象区間

▲トマトの出荷ルート
- #### 3 観光地へのアクセス・周遊性

◆阿蘇市や竹田市などは、観光資源が多く、「阿蘇くじゅう観光圏整備計画」の認定を受け、周遊観光に取り組んでいます。しかし、九州新幹線や東九州自動車道の開通などで宿泊者数が増加している大分市や熊本市に比べ、竹田市と阿蘇市の観光宿泊者数は横ばいで、観光地間の周遊性向上の確保が課題。

▲主要な観光地の分布及び年間観光客
- #### 4 救急医療施設への搬送

◆竹田市、阿蘇市、産山村の救急搬送は約4割が管外搬送しています。また、大分市や熊本市の第三次救急医療施設までは60分以上を要し、速達性の確保が課題。

▲第三次救急医療施設の立地状況と60分圏域
- #### 5 暮らしの利便性・交通安全

◆竹田市、阿蘇市、産山村は、日常生活において大分市、熊本市、菊陽町に依存している割合が高い。また、移動に1時間以上を要し、竹田市転居者の約半数が転居理由に交通の便の悪さを挙げており、速達性の確保が課題。

◆対象区間の市街地部は死亡・重大事故に直結しやすい「車両単独」の割合が高く、安全性の確保が課題。

▲竹田市の転出志向者の転出理由

5. 意見聴取方法について

◆アンケート調査(案)のイメージ

意見聴取にお答えください (回答は返信はがきに記入してください)

下記を参考に、同封のはがきへ必要事項を記入し、郵便ポストに投函をお願いいたします。

- ・ **単一回答**の設問は、あてはまる番号を**1つだけ**○で囲んでください。
- ・ **自由回答**の設問は、具体的な内容を回答してください。
- ・ **5段階評価**の設問は、各課題の該当する箇所に**1つだけ**○をつけてください。

問1 国道57号の利用頻度について

普段、竹田～阿蘇間の国道57号をどの程度利用していますか？
(**単一回答**)

1	ほぼ毎日(週4～7回)
2	週に数回程度(週2～3回)
3	月に数回程度(週1回未満)
4	ほとんど利用しない
5	利用したことがない

問2 国道57号の移動手段について

竹田～阿蘇間の国道57号を通行する際の、主な移動手段は何ですか？(**単一回答**)

1	自動車
2	公共交通(バス、タクシー)
3	バイク
4	自転車
5	徒歩

問3 国道57号の利用目的について

竹田～阿蘇間の国道57号を通行する際の目的として、最も多い目的は何ですか？(**単一回答**)

1	通勤・通学
2	仕事(営業・商談・運送など)
3	私用(買物・食事・通院など)
4	観光
5	その他 [具体的な内容を記入してください]

問4-1 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について

国道57号(竹田～阿蘇)について、5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)のそれぞれ 該当する箇所に1つだけ○を付けて下さい。(**5段階評価**)
【1～5の課題それぞれ該当する箇所に1つだけ ○ をつけてください】

番号	課題	そう思う	やや そう思う	あまりそ う思わな い	そう 思わない	わから ない
	(記入例)		○			
1	災害時に道路の通行止めが発生					
2	産業活動に影響を与える急カーブなどが多い					
3	大分・熊本の観光地間の移動時間が長い					
4	第三次医療施設までの移動時間が長い					
5	大分市・熊本市などへの移動が不便。市街地部での事故が多いなど安全性が低い					

問4-2 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について(理由)

「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(**自由回答**)

番号	理由
1	
2	
3	
4	
5	

問4-3 国道57号(竹田～阿蘇)の課題について(その他課題)

「問4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思う事があれば具体的にお書きください。(**自由回答**)

問5 その他について

その他ご意見がありましたらお聞かせください。(**自由回答**)

あなたご自身の事について教えてください

住所 ①竹田市 ②阿蘇市 ③産山村
④その他 ()

性別 ①男性 ②女性

年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

竹田～阿蘇の現状について、地域にお住いの皆様のご意見を広く伺うことを目的としています。そのため、このはがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。


回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

ご協力ありがとうございました。 29

5. 意見聴取方法について

◆アンケート調査(案)のイメージ

(表面)



料金受取人私郵便

差出有効期限
平成29年〇月
〇日まで
(切手不要)

郵便はがき

8 7 0 0 8 2 0

大分県大分市西大道一丁目1番71号

国土交通省九州地方整備局
大分河川国道事務所

中九州横断道路(竹田～阿蘇)
計画段階評価 事務局 行

◆あなたご自身の事について記入または該当する番号と箇所に○をつけてください

住所 ①竹田市 ②阿蘇市 ③産山村 ④その他()

性別 ①男性 ②女性 年齢 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

下記に「○」およびご記入をお願いいたします。

問1 普段、竹田～阿蘇間の国道57号をどの程度利用していますか？ (単一回答)

1. ほぼ毎日 2. 週に数回程度 3. 月に数回程度
4. ほとんど利用しない 5. 利用したことがない

問2 竹田～阿蘇間の国道57号を通行する際に、主な移動手段は何ですか？ (単一回答)

1. 自動車 2. 公共交通(電車、バス、タクシー) 3. バイク
4. 自転車 5. 徒歩

問3 竹田～阿蘇間の国道57号を通行する際に、最も多い目的は何ですか？ (単一回答)

1. 通勤・通学 2. 仕事 3. 私用 4. 観光
5. その他 ()

※個人情報と同意なく第三者に開示・提供することはありません。
(法令により開示を求められた場合を除きます。)

(裏面)

問4-1 国道57号(竹田～阿蘇)について、5つの課題を5段階(そう思う・ややそう思う・あまりそう思わない・そう思わない・わからない)のそれぞれ該当する箇所に一つだけ○を付けて下さい。

番号	課題	そう思う	やや そう思う	あまりそう 思わない	そう 思わない	わから ない
1	災害時に道路の通行止めが発生					
2	産業を支える道路に通行止めや急カーブが多い					
3	大分・熊本への観光地間の移動時間が長い					
4	第三次医療施設までの移動時間が長い					
5	大分市・熊本市への移動が不便。山間部はカーブが連続するなど安全性が低い。					

問4-2 「問4-1」にお答え頂いた回答について、そう思われた理由を教えてください。(自由回答)

番号	理由
1	
2	
3	
4	
5	

問4-3 「問4-1」に示した課題以外で、あなたが課題だと思ふ事があれば具体的にお書きください。(自由回答)

問5 その他ご意見がありましたらお聞かせください。(自由回答)